



ドローン自動飛行現地検討会を開催しました

徳島署は、平成 28 年度から徳島県、三好市、そして三好地区の林業事業者で構成する「ケーススタディ会議」を設置し、民有林と国有林が連携した取組を行っています。

この取組として、西祖谷の県有林において、ドローン自動飛行現地検討会を、11月11日(水)に開催しました。

当日は、15名が参加し、署長の挨拶に続き、森林技術指導官によるドローンの基本操作、自動飛行の設定方法の座学を行い、その後西祖谷の県有林へ移動し、自動飛行の設定・操作を行いました。

参加者は、最初は自動飛行の設定に苦慮していましたが、設定したコース通りに飛行していくドローンからタブレットへ送信される画像を見て現地の確認を行い、「さらに便利な活用方法を習得したい」といった感想がありました。

今後このケーススタディ会議を通して、現地検討会を開催するなど地域の課題とその解決に向けた取組を進めてまいります。



自動飛行設定講義の様子



モニターを用いた自動飛行説明の様子



自動飛行設定の様子



自動飛行の開始

徳島県立池田高校三好校で「林業出前授業」を行いました

徳島署では、平成 30 年度から徳島県と合同で、人材育成に向けた取組として、徳島県立池田高校三好校で「林業出前授業」を行っています。今年は、11月27日(金)、2年生を対象にドローン講習会を開催しました。

まず、徳島県西部総合県民局の林業振興担当課長の挨拶に続き、当署職員が生徒に対して、国家公務員に向けての就職ガイダンスの説明を行いました。続いて、ドローンの林業分野等での活用事例の紹介、航空法、飛行時の注意事項等の講義を行い、その後運動場へ移動し、署・県の職員の指導のもと、生徒が操作を行いました。

最初は、恐る恐る操作していましたが、普段は見慣れない角度からの画像を見て感動した様子で、「意外と操作は簡単であり、今後林業やその他の仕事に就いてもドローンなどの先進技術を活用し役立てていきたい」といった感想がありました。

徳島署では、このように関係機関・団体等が取り組む人材育成や、就職ガイダンスなどに、今後とも積極的に支援してまいります。



徳島県担当課長の挨拶



出前授業講義の様子



生徒へのドローン飛行指導の様子



ドローンによる自撮りの様子

子供たちへの森林環境教育を開催しました

12月7日、小松島市立目佐児童館において、小学生を対象とした「森林環境教育」を行いました。

今年度は、新型コロナウイルスの関係もあり、一度も開催出来ていませんでしたが、今回が初の開催となりました。

はじめに、自然を大切にする気持ちを持ってもらう事を目的として、植物の冬芽が春にむけて準備をしている様子(ふゆめがっしょうだんの絵本の話)を学んでもらいました。

その後、子供たちが楽しみにしていた「木工作成(松ぼっくりクリスマスツリー)」では、それぞれに木の枝や木の実、端材を上手に組み合わせながら、思い思いの作品を作っていました。

今後も、このような森林環境教育を通じ、森林環境への理解を深めるきっかけとなる取組を積極的に行ってまいります。



職員の話聞く聴く児童



飾り付けの材料探し



思い思いに作品作り



いろいろな作品が完成しました



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1



国民の森林・国有林